

質疑並びに一般質問

6日間にわたり、次の19人の議員が質問しました。ここでは、その一部をお知らせします。この記事は各質問者が作成しています。

柏清風

石井昭一

●タウンミーティングについて
 旧沼南町地区でタウンミーティングを開催すると聞いていますが、日時及び開催場所の地域住民への周知方法は、また、何人程度の参加を予定しているのか。

●答 昨年は市内全域を対象として4会場で開催し、うち1カ所を沼南会場にて開催した。柏市と沼南町の合併後6年が経過し、合併前に策定した新市建設計画の進捗状況や今後地域の皆さんと協議をしていかなければならないことなどについて、沼南地域の3会場で説明し、意見交換を行いたいと考えている。開催日は10月23日午後沼南公民館、10月29日午前に手賀西小学校、同日午後高柳近隣センターで各1時間30分程度を予定している。なお、これらについては、



手賀東小学校

沼南地域の各区長及び町会長等を通じて回覧チラシでお知らせしていく。

●教育環境について
 手賀西小学校及び手賀東小学校のような小規模校についてどのように考えているのか。また、手賀東小学校が、新年度より本市初の複式学級となることについての対応と見解はどうか。

●答 手賀東小学校の複式学級について、来年度の5・6年生は学級編成上では複式学級となるが、学習指導上の課題に対応するため、講師等を活用し、国語算数、理科、社会等については学年別に授業を行う計画で進めており、さらにきめ細かい教育ができるよう考えている。

●複式学級になる前に保護者にお知らせを行うと同時に、意見及び要望等を聞く必要があると思うがどうか。

●答 説明の時期や方法等については、今後学校と協議し、決定したいと考えている。

●風早南部小学校の跡地利用等について
 藤ヶ谷、藤ヶ谷新田、高柳の3区長から出された風早南部小学校の跡地利用の要望等に対し

してどのような対策をしたのか。また、移転先の風早南部小学校は沼南地区で唯一自校式の給食を行っているが、他の学区の保護者から自分の学区の学校も自校式になるのか問い合わせがある。早い時期での実施を要請する。

●答 地元からは、跡地の全体面積を利用した公園やスポーツ広場、あるいは老若男女が利用できる多目的広場として整備の要望があるが、厳しい財政状況下において、新たな整備事業を行うことは非常に厳しいということとを伝えている。このようなことから、地元での自主運営、自主管理を前提とした利用についてのどのような形でできるか現在協議を行っているところである。なお、地元との協議が調った場合には、施設内における管理棟やトイレの設置、水飲み場、駐車場等の初期の整備については、市が行う考えである。今後も跡地利用について地元の皆様と検討していく。

●教育施設の除染
 小中学校、保育園ではどのような除染を行ったのか。また私立の教育施設にも除染のための補助をすべきと考えるがどうか。

●答 小中学校では、放射線量を定期的に測定している。除染活動は、教職員や保護者等に協力いただきながら行っている。私立幼稚園については、除染活動の補助制度を創設した。



助川忠弘

●農作物の放射性物質検査
 農作物の検査はどのように行い、どのような結果が出たのか。

●答 農作物については、市独自に検査し、公表している。現在50品目160検体の検査を実施。暫定規制値を超える農産物は出ていない。今後も検査を続け、公表していく。

●ごみ及び焼却灰の処理
 放射性物質を含むごみの処理をどのように行うのか。

●答 現在も埋め立て処分ができない焼却灰が増加している。他市と協力し、国及び東京電力に緊急要望を行っている。また、放射性物質がついたと思われる草や枝を分けて収集して焼却する実験を行った。

●公園の除染
 市民の憩いの場となる公園の除染を徹底すべき。また戸張第四公園等水はけの悪い公園は早急に対策を講じるべきと思うがどうか。

●答 公園について継続的に測定している。高線量スポットについては、土のすき取りなどを実施している。水はけの悪い公園については、直ちに対策を施していく。



基本情報を入力し測定中

●放射線対策の広報活動
 まだまだ市民に情報が行き渡っていない。ホームページ等もよいが、職員自ら駅頭立ち、市民の声を聞きながらビラを配ってはどうか。もし行うなら私も一緒に配りたい。

●答 現在、広報かしわや柏市災害対策かわら版等を発行している。放射線対策特別版は、子供を持つ世帯に別途配布した。今後はご提案の配布方法も含めてさらなる周知方法を検討する。

●沼南地域に小中一貫校を
 大津ヶ丘中、手賀中の学区を一つとした公立小中一貫校の新設を提案する。これにより北部に国際キャンパスタウン、中央に文化交流拠点、南部・沼南に小中一貫校とスポーツ拠点を置き、柏の教育の魅力を創造・発信すべき。

●答 現在、大津ヶ丘中学校を小中学校連携推進校に指定している。今後は、手賀地域も含めて学校づくりの研究を行う。

●スクールバス導入の提案
 児童の増減の著しい沼南地域において、スクールバスの必要性を強く感じる。早急に導入し、格差の解消を図るべき。

●答 スクールバスの運行について、今後も研究していく。

●風早南部小跡地利用
 さまざまな利用の可能性を示し、検討委員会を設置するところがあるが、どのような議論を重ねたのか。

●答 地元の要望をもとに地権者や地元代表と協議を重ねているが、まだ結論に至っていない。

●財政健全化について
 市の計画では、今後3年間で総額およそ358億円の投資的事業（公共事業）が予定されている。一方、行政改革プランでは、財源の面における制約から、公共事業費を3年間で総額270億円程度に抑制せざるを得ない可能性を指摘している。一議員として、財源の確保が困難な場合は、すでに予定されている公共事業であっても、その一部を見直し、あるいは延期すべきと考えるが、市長の考えはどうか。

●答 財政健全化の目標達成が優先事項であり、現在、計画をされている事業であっても場合によっては事業の見直し、絞り込みを行っていく考えである。事業の絞り込みが必要となった場合は、現行の法律、外部との契約の状況などを踏まえつつ、「安全・安心」、「子育て」、「市民との協働」などに関する事業を優先的に実施していきたいと考えている。

●災害対応時の個人情報の取り扱いについて
 震災の後、一部の浄水場から放射性物質が検出され、乳児に対する水道水の摂取制限が行われた際、ある町会が備蓄している飲料水を乳児のいる家庭に配布しようとしたところ、本市では個人情報保護するという立場から、乳児のいる世帯に関する情報を町会に提供せず、結果として町会による水の配給の取り組み自体が頓挫してしまうという事案があった。災害が起きた際に、地域における互助共助の取り組みを促進するには、個人情報の取り扱いを一定のルールの中で町会等に提供する仕組みが必要であると考えるが、市役所の見解は。

●答 市としては、災害対応の迅速化に向けて、柏市情報公開・



柏の葉公園

個人情報保護審議会の意見も踏まえながら、災害時における個人情報の提供のあり方について検討を進めていきたいと考えている。同時に、町会・自治会等が、日頃から災害時に支援が必要となる可能性の高い世帯について、情報の収集を進めていくよう、働きかけを行っていきたい。

●放射線対策について
 柏の葉公園における今後の放射線量の測定および除染の取り組みについて、どのように考えているか。柏の葉公園は県の管理運営下にある施設だが、多くの市民が利用しており、より積極的な放射線対策を求める声もある。その点を踏まえて見解はどうか。

●答 現在、本市では市内60カ所の公園すべての放射線量の測定と、線量の低減対策を進めている途上にある。柏の葉公園についても線量の測定は行っているが、除染対策については、県の管理運営下にあることから、県が主体となって実施されるべきものと考えている。具体的な対応については今後、県と協議を進めていきたい。

村田章吾